

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL:(052)678-5310 FAX:(052)678-5330
<http://clanago.com>

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: <http://www.mane-pro.com>




シアター・ウィークエンドが50周年

「音吉物語」(2017年10月・美浜町体育館)

劇団シアター・ウィークエンド(松本喜臣代表)が創立50周年を迎え、記念公演「音吉物語」を9月9日(午後2時、6時)、10日(午前11時、午後3時)愛知県芸術劇場小ホールで開く。

「音吉物語」(作・東田麻希、演出・松本喜臣)は江戸末期、知多・美浜町に実在した音吉の奇な人生を描いた劇団の代表作。千の風となった音吉

9月9、10日 芸術劇場小ホール 記念公演に代表作「音吉物語」上演

(松本)の回想で幕が開く。1832年、小野浦を出港した回船「宝順丸」は嵐に遭う。14カ月の漂流後、北米西海岸に着いたが、乗組員14人のうち生き残ったのは3人だけ。音吉らは各地を転々、過酷な運命に翻弄される。やがて帰国のめどが立ったものの、日本は鎖国中で悲願はかなわず…。

初演は93年。劇にしたいという地元の要望を受け、劇団創立は73年。早稲

田大演劇科で学んだ松本が、名古屋に帰って今池北の喫茶店2階で活動を開始。86年から池下のビル2階にスタジオを構え、活発な公演を行ってきたが、ビルの建て替えで拠点を失った。

松本は「アツ」という名の50年でしたが、いろいろなお話がありました。記念公演はやはり「音吉」を見ていただき、われわれの熱い思いを感じてほしい」と話す。

日時指定の自由席3500円、学生2500円(当日各500円増し)。(当日各500円増し)。
TEL:050-1807-4493

上野水香、倉永美沙、近藤亜香、中村祥子が来演 グラン・ドリーム・バレエ・フェス

東海地区ダンサー173人と共演
10月8日、9日愛知県芸術劇場で開催

上野水香、倉永美沙、近藤亜香、中村祥子。4人の国際的プリンス・バレエ・フェス2023。今年東海地区テレビ放送開局65周年記念公演として10月8日(午後4時)、9日(午後2時)愛知県芸術劇場大ホールで開催される。4作品の上演で、振付を地元舞踊家が行う。

上野水香 ◎ KENTARO MINAMI
倉永美沙 ◎ Masatoshi Yamashiro
近藤亜香 ◎ Justin Rider
中村祥子 ◎ Masatoshi Yamashiro

レオタードのご購入 送料 無料
1枚からでも大丈夫
DanSkate
WearLab Grigolo

住所 〒466-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目1-23
白川本町ビル3F (大塚ビル向かいの上です)
電話番号 052-265-7900
URL <https://danskate.com>

③「ライモンタ」(第3幕より)。振付・梶田真嗣。主演・中村祥子、今井大輔。中村祥子はウィーン国立歌劇場バレエ団、ベリン国立歌劇場バレエ団、ハンガリー国立歌劇場バレエ団を経て2015年から20年までKバレエカンパニーに所属。現在はフリー。

④「パキータ」振付・松岡璃映、市橋万樹。主演・上野水香、厚地康雄。上野水香(東京バレエ団ゲスト・プリンス・バレエ)は2004年に東京バレエ団に入団後、多くの作品に主演。22年には芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。

全指定S席1万円、A席8000円、B席6000円、C席4000円。TEL:052(951)9104(東海テレビチケットセンター)。

偶然聴いたビートルズに魅せられ
「ジャンルの扉」

ダイヤモンド☆ユカイ
「FRED WARRIORS」のボーカルデビューし、バンド、ソロと様々な形で歌い続けるロックシンガー、ダイヤモンド☆ユカイ。

音楽に惹かれたのは中学2年の時。ケガをして野球ができなくなった時に偶然聴いたビートルズに魅せられ、友人らとバンドを始めた。

ロックシンガーとして30年以上走り続ける中、様々なジャンルの音楽の魅力にも出会い、いつしかジャズやバラッドなど歌う世界も広がった。「音楽はボーダーレスなので、ジャンルへのこだわりはあまりない。ジャズもジャンルも素直に聴いて、昨年予定していた周年イベントには出演を依頼された。」「ジャンルとかに関係なく、魂の部分を気に入ってくれたのかも」と出合いを振り返る。

「自分の曲にもジャンソン風のものがあるの、エルムでピアノストに弾いてもらって歌いたいですね。これからも大事にしたいのはライブ。一人でも多くの人と音楽を共有して、元気になってもらいたい」と話す。(聞き手・竹本真哉)

◆推奨公演◆
名古屋市民コーラス第50回定期演奏会「ミサ曲短調」9月17日(午後4時)愛知県芸術劇場コンサートホール。団員170人が、大編成の名フィルとともにバッハの最高傑作を披露する。指揮は本山秀毅。ソリストは木澤佐江子、益田早織、福原寿美枝、清水徹太郎、三原剛。合唱指揮は山本高栄。全指定席、5000円、A4000円、B3000円、C2000円。TEL:090(993)93234。

プリズムステージ10周年記念!!
音楽 De まっしゅ!!

どんな音楽が飛び出すか? お楽しみステージ!!

2023
1stステージ 9.29 FRI 18:30開演(18:00開場) 前売り4,000円/当日4,500円 大学生以下・前売り・当日ともに2,500円
2ndステージ 9.30 SAT 15:00開演(14:30開場) ※未就学児童の入場はご遠慮ください。 ※大学生以下は学生証のご提示をお願いします。
※前売りの時点でチケットが売り切れてしまう場合、当日券の販売はありませんのでご注意ください。

公演の詳細は 電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)

HITOMIホール 名古屋市中区栄三丁目21番19号 メニコンANNEX 5F

豊かな詩情、一音一音にこもる魂

ACO協奏曲

地元8人、県外から4人、合わせて12人ものソリストを迎え行われたのが、愛知県内オーケストラ(ACO)の「コンチェルト・シリーズ」第4回(6月17日・しらかわホール)だ。

舞台批評

老いも若きも工夫凝らした名舞台



「ある晴れた日」(撮影・東海フォト)

モダンダンス

現代舞踊協会中部支部が「モダンダンス エクステンション」(7月2日・愛知県芸術劇場小ホール)を行った。ベテラン5、若手1の6グループが、独自の創作世界を展開した。

前半は、反戦のメッセージを込めた3作が並んだ。杉江良子は突然の異変で日常が一変する様

思えば1823年の欧州で、14歳の少年が書いた曲が、200年後、日本の演奏家により再生された。

印象に残った3人のピアニスト

名古屋音大定演

名古屋音楽大学が第45回の定期演奏会(7月11日・しらかわホール)を開催。4年生16人(ピアノ)



「ヴァイオリンとピアノのための協奏曲」



ファイナリストを務めた田本将也

米実玲と田本将也、そして3人の歌の伴奏を行った3年生の佐藤大徳だ。

ポロネーズ S223 R44・第2番を弾いた。衣装も個性的だったが、演奏にも流麗な外連味があふれた。不思議なこと、鍵盤を操る彼の両手がとても

大きく見え、独自の意志を持っていくように思えた。

佐藤はミュージカルとアリアの伴奏をした。歌い手をリスペクトしながらも、さりげなくサポートする。歌のツボを心得たプロの仕事だった。愛

魅せて聴かせたオルガンの魅力

オルガン石丸由佳

オルガニスト石丸由佳が芸術劇場コンサートホールで「オルガン・アワー」を上演した(6月23日)。



石丸由佳(提供・愛知県芸術劇場)

名古屋フィルハーモニー交響楽団の音楽総監督など、この地方の音楽芸術発展に貢献した指揮者の外山雄三さんが7月11日に亡くなった。92歳。

追悼

名古屋を愛した外山雄三さん逝く

名古屋を愛した外山雄三さん逝く。名古屋を愛した外山雄三さん逝く。名古屋を愛した外山雄三さん逝く。

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆川 小野由加利 玉田 弘子 秋田 昌子 加藤 静子 つつみあつき 浅井 亮子 金澤 志保 手塚 淑子 荒川 洋子 蟹江 尾八 戸田美江子 飯田みち代 北村 哲也 中川 幸作 出田 光代 黒沢 優子 仲条 優理 伊藤 敬 佐藤 典子 名鶴ひとみ 伊藤 直樹 佐藤美智子 西川 長秀 稲垣 舞比 佐野 和美 野々山保治 斎 千龍 澤脇 達晴 野村 祐子 今村 早知 清水 房子 服部 節子 植村麻衣子 白樺 八重 花咲 市岡 内田 寿菊 まことこぼる 花柳 馨優 内田 寿千代 杉江 瑞美 林 雅仁 内田 寿晴 鈴木 幾子 福井 啓子 内田 寿哉 鈴木久美子 淵本晴都子 内田 翠 鈴木 文雄 松本千津子 内田 千鶴 須山 仁美 松本 道子 内田 美 角田真優美 見波 紀子 大寺 資二 高倉 麻耶 宮西 圭子 岡田 一男 高橋はじめ 山口 雅子 岡田 純奈 武市 孝三 吉田 尚弘 岡崎 保彦 竹元まき子 よしみゆこ 小倉ひろこ 田淵友佳理 渡部 千枝 ほか

18、19日 芸文で「TSUBUTIE」



ホールで開催される。京都を拠点に国際的な活動を展開するダンスユニット「モノクロームサーカス」(坂本公成・森裕子)が、東日本大震災被災者の一人として「詩の碟」を発表し、2007年にはそのフランス語版

現代詩十現代美術十コンテンポラリーダンスの「モノクロームサーカス」(坂本公成・森裕子)が、東日本大震災被災者の一人として「詩の碟」を発表し、2007年にはそのフランス語版

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者のみ)。会員

華麗なるヴァイオリン
ブームス・ラファマニノフ
そして尾高尚忠

9.10(日) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

ダブルリード
アンサンブル
の妙技

8.28(日) 19:00開演
9.12(土) 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

美郷ポカッション
コンサート
SiziU Anniversary

2023年 9月18日(日) 15時開演
三井住友海上しらかわホール

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き



レーベインムジックのシューマン室内楽演奏会、第3回「メンデルスゾーン1843」(6月17日・電気文化会館)はシューマン、ブラームス、

作曲家3人の作風を描き分け

レーベインムジック

メンデルスゾーンの聴き比べとなった。代表的ピアノ桑野郁子、ヴァイオリン西村洋美、チェロ高木俊彰、クラリネット高間健悟の4人で3曲。このシリーズではシンプルなお内容。

興味深いエピソードも添えて
東海バロックプロジェクトの3回シリーズ第一回「迦陵頻伽」(6月22日・HITOMIホール)。澄んだ声に魅了された。迦陵頻伽(かりようびんが)は、上半身が人で下半身が鳥という伝説上の鳥の鳴き声。美しい声で鳴くことから、美声の持ち主に例えられる。ソプラノ本田美香、メ



ソプラノ鈴木美穂、バリトン近野賢一が、モンテヴェルディ、ガスパリーニほかの小鳥をテーマにしたバロック期の歌曲を、戸崎廣乃のチェンバロとともに、きれいな声で聴かせた。ソロから二重唱、三重唱まであって、シンプルなお内容で分かりやすい。後半はヘンデル。おなじみのセルセ「樹木のかげで」や、カンタータ「夜明けに微笑むあの花も」。このメロディーが「メサイア」に転用されたのは興味深いエピソードだ。



テヴェルディ、ガスパリーニほかの小鳥をテーマにしたバロック期の歌曲を、戸崎廣乃のチェンバロとともに、きれいな声で聴かせた。ソロから二重唱、三重唱まであって、シンプルなお内容で分かりやすい。後半はヘンデル。おなじみのセルセ「樹木のかげで」や、カンタータ「夜明けに微笑むあの花も」。このメロディーが「メサイア」に転用されたのは興味深いエピソードだ。

興味深いエピソードも添えて

東海バロック

健在ぶりを発揮した復活演奏

ザ・ストリングス

ザ・ストリングス名古屋の第25回定期演奏会

の特色を巧みに弾き分けた。第4回は8月8日。

シューマン「ピアノ三重奏曲第一番」は、流麗でロマンティックなブラームス「クラリネット三重奏曲」は、しっかりとした構成で精神的な深さを内包。メンデルスゾーン「チェロソナタ第二番」は快活で躍動感にあふれた。3人は同時代に活躍し

たロマン派の大家だが、作風は三様その違いが分かる構成で、それぞれ館)は、4年ぶりの再開で健在ぶりを披露した。名フィルの弦楽器奏者を中心に結成。メンバーの入れ替わりはあったが、着実に活動を継続してきた。今回はヴァイオリン矢口十詩子、川上裕司ら、ヴィオラ杉山光太郎ら、チェロ石橋隆弘ら総勢12人。

モーツァルト「ディヴェルティメント・K138」で軽快にスタート。ベートーヴェン「弦楽四重奏曲第11番」セリオンは、原曲とは違う力強さにあふれていた。ヤナーチェク「弦楽のための牧歌」は、同じチェコ出身のドヴォルザークを思わせる雰囲気もあり、緩急さまざまな7つの牧歌は、内面的でやや暗い。4年ぶりの復活演奏に、やや硬さを感じたのは曲調のせいだ。

MUSIC

イ・ムジチ合奏団

「四季」 VIVA VERDI VIVA VIVALDI

ヴェルディ「聖歌四編」から「アヴェ・マリア」
ヴェルディオペラ《シチリア島の夕べの祈り》からパレエ音楽「四季」
ヴィヴァルディヴァイオリン協奏曲集「四季」

2023 9.21(木) 18:45開演 [18:00開場]
愛知県芸術劇場コンサートホール

全席指定・税込
S席 7,000円 / A席 5,500円 / B席 4,000円 / C席 3,000円
2023.6.9(金)10:00～発売開始

アイ・チケット 0570-00-5310

チケットぴあ <https://t.jp/ia/>
ローソンチケット <https://l-like.com>
イープラス <https://eplus.jp> 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
芸文プレイガイド 052-972-0430 栄プレチケ92 052-953-0777

オーケストラ・キャラバン
超!有名曲シリーズ in 四日市
セントラル愛知交響楽団

2023 9/10(日) 14:00開演 (13:15開場)
四日市市文化会館第1ホール

セルム・マザリ
ピアノ・リサイタル
Selim Mazari Piano Recital

9/30(土) 14:00開演 (13:30開場)

音環IX
2023.9.21(日) 18:45開演
東海バロックプロジェクト

神野すなほ
ピアノリサイタル
Sunaho Kanno Piano Recital

2023 9.24(日) 17:00開演

東京交響楽団
豊田公演
BRAHMS
ブラームス
ヴァイオリン協奏曲 第二番 op.77

9/27(水) 2023

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット[電子チケット]導入。(利用できない公演もあります)
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。